

第4期横浜市港南区民文化センター
指定管理者選定委員会選定報告書

令和3年8月

1 経緯

第4期横浜市港南区民文化センターの指定管理者の選定にあたり、「横浜市港南区民文化センター指定管理者選定委員会運営要綱（以下、「要綱」という）」に基づき、横浜市港南公会堂指定管理者選定委員会(以下、「選定委員会」という)は、応募団体から提出された提案書類の審査や面接を行ってまいりました。

このたび、選定委員会により指定候補者を選定しましたので、要綱第10条に基づき、ここに港南区長あて選定結果を報告します。

2 横浜市港南区民文化センター指定管理者選定委員会選定委員

委員長 影山 摩子弥（横浜市立大学都市社会文化研究科教授）

委員 太下 義之（同志社大学経済学部経済学科教授（文化政策研究者））

小川 義彦（港南区 街の先生の会）

菅原 千恵（港南区ひまわり管弦楽団事務局 監査）

宮田 順子（東京税理士会横浜南支部 税理士）

※肩書は、第1回選定委員会当時です。

3 指定候補者選定の経過

項目	日時
第4期横浜市港南区民文化センター指定管理者第1回選定委員会（応募書類・選定方法など）	令和3年2月17日（水）
公募要項の配布期間	令和3年3月1日（月）～5月21日（金）
応募者説明会及び現地見学会	令和3年3月8日（月）
公募要項等に関する質問受付	令和3年3月8日（月）～3月15日（月）
公募要項に関する質問回答	令和3年4月7日（水）
応募書類の受付	令和3年5月24日（月）～5月25日（火）
第2期横浜市港南公会堂指定管理者第2回選定委員会（面接審査・審議）	令和3年8月18日（水）

4 選定にあたっての考え方

選定委員会では、「横浜市港南区民文化センター指定管理者公募要項」において、あらかじめ定めた評価基準項目に従い、書類審査及び団体への面接により、総合的に審査・選定を行いました。

なお、評価点については各選定委員が220点を持ち点とし、評価項目ごとに評価し、その合計点を、団体の獲得点数としました。また、現指定管理者の運営実績評価として加減10点の項目を設けました。

5 選定評価項目及び配点

項目	主な審査の視点	主な確認項目	配点
1 団体の状況			10
(1) 団体の状況（財務状況含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・団体が、公の施設の管理運営者としてふさわしい団体であるか ・事業収益性、経営安定性、借入余裕度等が健全であるか 	様式 10、11	10
2 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針			20
(1) 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市の文化政策及び施設の使命を理解した上で、基本的な方針を定めているか ・施設の使命を果たすために適切な方針となっているか。 	様式 12	10
(2) 応募理由	<ul style="list-style-type: none"> ・応募理由が、市の施策や地域の特性、施設の設置目的を十分に理解した妥当性・具体性のあるもので、公益性の高いものか。 ・施設運営・管理・事業実施に熱意が感じられるか 	様式 13	10
3 職員配置・育成			20
職員の確保、配置及び育成	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定者の能力・資質の考えが適切であるか（業務の基準に定める「責任者に期待する役割」を果たし、文化事業の企画・実施や施設管理を的確に行える想定か） ・配置予定者は当該ポジションに適切な人物か。職種や責任体制等は適切に考えられているか。 ・スタッフの育成に関する考え方が適切か ・館を運営するチームとして、一体感あるチームをつくる運営に配慮しているか ・事件・事故、災害等の対応に対して具体的な対応ができる体制が考えられているか ・個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の施設として、市の重要施策を踏まえた取組となっているか。 ・5年間の指定期間を見据えた配置及び育成計画となっているか。 	様式 14、15	20
4 事業計画（施設の使命を達成するための提案）			105
「使命1：文化芸術の活動と体験の場となる」を達成するための提案	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 16-1、2	20
「使命2：文化芸術活動を担う人材を育む」を達成するための提案	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 17-1、2	20
「使命3：文化・芸術の鑑賞の機会を提供する」を達成するための提案	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 18-1、2	20
「使命4：あらゆる人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける」を達成するための提案	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 19-1、2	20
「使命5：持続可能性を高める施設運営を行う」を達成するための提案	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	様式 20-1、2	20

「使命6:新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する」を達成するための提案	・提案された取組によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は確かなものか。	様式 21	5
5 収支計画及び指定管理料			30
(1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え	・利用料金等が適切・適正であり、利用者増を見込めるか	様式 22-A、22-B	10
(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力	・指定管理料のみに依存しない収入構造となっているか ・経費削減等効率的運営の努力の考えが具体的か	様式 23	10
(3) 5年間の収支及び収支バランス(指定管理料の提案含む)	・利用者サービスのための経費や修繕費の配分など、施設の特性や課題に応じた費用配分となっているか ・収支計画が適切であり、効率的な経費の執行による適切な指定管理料となっているか ・5年間の収支計画が適切であり、効率的な経費の執行による適切な指定管理料となっているか。	様式 24	10
6 全体を通じて			15
(1) 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用	・業務の基準に定める「港南区民文化センターに求められる使命」に照らして、妥当であるか、実現が可能か。 ・市民理解が得られる公益性があり、かつ収入確保につながる提案内容か。	様式 25	5
(2) 市の重要政策課題への対応	・市の重要政策課題(個人情報保護、情報公開、人権尊重、環境への配慮、障害者差別解消、男女共同参画、市内中小企業優先発注)への団体の対応状況は適切か。	様式 26	5
(3) 提案書全体に対する評価	・提案書は正確かつ明瞭に記載されているか。		5
小計 (A)			200
7 その他(加減要素)			±20
(1) 前期の管理運営の実績(現在の指定管理者のみ)	・第三者評価の結果が優秀であり、要求水準を上回っていたか。(要求水準を下回った場合は減点対象) ・選定時に評価された特筆すべき提案を達成したか。(達成できなかった場合は、減点対象)	第三者評価結果	-10 ~ +10
(2) 市内中小企業等であるか【必須評価基準項目】	市内中小企業等 ・市内中小企業 ・中小企業等協同組合法第3条に規定する事業協同組合、事業協同小組合及び信用協同組合のうち、市内に住所を有する者 ・地域住民を主体とした施設の管理運営等のために、地域住民を中心に設立された団体 ※共同事業体の場合は、代表団体が市内中小企業等であること。		10
小計 (B)			20
合計 (C = A + B)			220

6 応募団体

- (1) 京急グループ共同企業体
- (2) 横浜メディアアド・秀和ビルメンテナンス共同事業体

7 選定結果

選定委員会において、書類審査及び面接の内容を総合的に審査した結果、次の団体を、指定候補者に選定しました。

指定候補者： 京急グループ共同企業体

次点指定候補者： 横浜メディアアド・秀和ビルメンテナンス共同事業体

8 評価点

別紙のとおり

9 委員の主な意見

(1) 京急グループ共同企業体

- ・小さな団体などに目を向けるという提案は良かったが、区内全域への目配りが不足している。
 - ・高齢者プログラムへの配慮や子供向け事業が良いと思った。
 - ・港南ストリートコンサートは人材育成の点からも良い取組だと思った。
 - ・音楽コンテンツに頼らず、音楽以外のワークショップなどへの取組が評価できた。
- 一方で、盛り沢山の提案だったため、本当に実現できるのか疑問が残った。
- ・新しい利用者への掘り起こしが進んでいないように思えた。施設の周知に課題がある。
 - ・具体的な観点でのボランティア募集に好感が持てた。
 - ・地域のニーズや時代の状況を把握しようとしている姿勢が良いと思った。一方で、長期的な視野や新しい視点が不足していた。

(2) 横浜メディアアド・秀和ビルメンテナンス共同事業体

- ・人材の育成に力を入れており、将来の人材を育てていく上で評価できると思った。
- ・キャッチフレーズや「ハマケン」の活動についてユニークで良いと思った。
- ・港南区民文化センターへの取組に繋がるような具体的な提案があると良かった。
- ・著名なミュージシャンによる公演の提案については、地域の将来には繋がらないのではないかと感じた。
- ・コロナ対策についての具体的な提案が良かった。
- ・港南台地区についての提案はあったが、港南区民文化センターがある上大岡地区について、理解しているのか疑問が残った。
- ・港南区の現状についての調査を行い、地域を把握しようとしているところは好感が持てた。

横浜市港南区民文化センター指定管理者選定結果(評点集計表)

評価基準項目		配点	京急グループ共同 企業体)	横浜メディアアド・秀和ビルメン テナンス共同事業 体)	
1 団体の状況 (10点)	1-1 団体の状況(財務状況含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・団体が、公の施設の管理運営者としてふさわしい団体であるか ・事業収益性、経営安定性、借入余裕度等が健全であるか 	10	32	38
2 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針 (20点)	2-1 指定管理業務実施にあたっての基本的な方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市の文化政策及び施設の使命を理解しているか。 ・施設の使命を果たすために適切な方針となっているか。 	10	36	30
	2-2 応募理由	<ul style="list-style-type: none"> ・応募理由が、市の施策や地域の特性、施設の設置目的を十分に理解したものか。また、公益性の高いものか。 ・施設運営・管理・事業実施に熱意が感じられるか 	10	36	30
3 職員配置・育成 (20点)	3-1 職員の確保、配置及び育成	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定者の能力・資質の考えが適切であるか(業務の基準に定める「責任者に期待する役割」を果たし、文化事業の企画・実施や施設管理を的確に行える想定か) ・配置予定者は当該ポジションに適切な人物か。職種や責任体制等は適切に考えられているか。 ・スタッフの育成に関する考え方が適切か ・館を運営するチームとして、一体感あるチームをつくる運営に配慮しているか ・事件・事故、災害等の対応に対して具体的な対応ができる体制が考えられているか ・個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の施設として、市の重要施策を踏まえた取組となっているか。 ・5年間の指定期間を見据えた配置及び育成計画となっているか。 	20	72	64
4 事業計画(施設の使命を達成するための提案) (105点)	4-1 「使命1:文化芸術活動の活動と体験の場となる」を達成するための提案	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使命を理解し、設定された定量指標・定性指標が的確であるか。 ・提案された事業によって使命を果たすことができると考えられるか。また、その理由は的確なものか。 	20	76	72
	4-2 「使命2:文化芸術活動を担う人材を育む」を達成するための提案		20	80	68
	4-3 「使命3:文化・芸術の鑑賞の機会を提供する」を達成するための提案		20	76	68
	4-4 「使命4:あらゆる人を文化活動に受け入れ、地域の力を結びつける」を達成するための提案		20	72	68
	4-5 「使命5:持続可能性を高める施設運営を行う」を達成するための提案		20	64	68
	4-6 「使命6:新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する」を達成するための提案		5	17	16
5 収支計画及び指定管理料 (30点)	5-1 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金等が適切・適正であり、利用者増を見込めるか 	10	32	32
	5-2 指定管理料のみに依存しない収入構造となっているか ・経費削減等効率的運営の努力の考えが具体的か	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料のみに依存しない収入構造となっているか ・経費削減等効率的運営の努力の考えが具体的か 	10	30	34
	5-3 5年間の収支及び収支バランス(指定管理料の提案含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスのための経費や修繕費の配分など、施設の特長や課題に応じた費用配分となっているか ・収支計画が適切であり、効率的な経費の執行による適切な指定管理料となっているか ・5年間の収支計画が適切であり、効率的な経費の執行による適切な指定管理料となっているか。 	10	30	32

6 全体を通じて (15点)	6-1	施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用	・業務の基準に定める「港南区民文化センターに求められる使命」に照らして、妥当であるか、実現が可能か。 ・市民理解が得られる公益性がある提案内容か。	5	19	19
	6-2	市の重要政策課題への対応	・市の重要政策課題(個人情報保護、情報公開、人権尊重、環境への配慮、障害者差別解消、男女共同参画、市内中小企業優先発注)への団体の対応状況は適切か。	5	16	17
	6-3	提案書全体に対する評価	・提案書は正確かつ明瞭に記載されているか。	5	15	17
7 その他(加減要素) (20点)	7-1	前期の管理運営の実績(現在の指定管理者のみ)	・第三者評価の結果が優秀であり、要求水準を上回っていたか。(要求水準を下回った場合は、減点対象) ・選定時に評価された特筆すべき提案を達成したか。(達成できなかった場合は、減点対象)	10	30	
	7-2	市内中小企業であるか【必須評価基準項目】	市内中小企業等 ・市内中小企業 ・中小企業等協同組合法第3条に規定する事業協同組合、事業協同小組合及び信用協同組合のうち、市内に住所を有する者 ・地域住民を主体とした施設の管理運営等のために、地域住民を中心に設立された団体 ※共同事業体の場合は、代表団体が市内中小企業等であること。	10	0	50
210(既存指定管理者以外の団体の場合) 220(既存指定管理者の場合)				合計	220 (1100)	733 723
・大項目1～6：計200点満点、大項目7：計20点満点。合計220点満点。 ・最低基準点は、大項目1～6の合計点(200点)の6割とする。				順位	1位	2位